



新宮イーグルス 頑張っています！

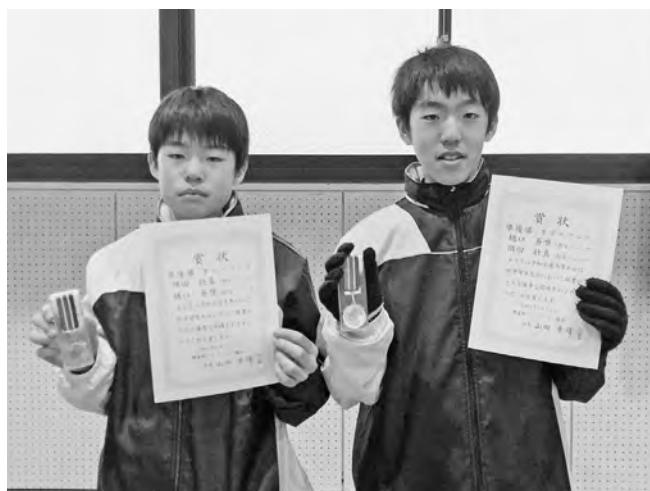
12月1日に粕屋スポーツ公園・粕屋中央小学校で第16回粕友会秋季大会が開催されました。全20チームによるソフトボールが繰り広げられる中、町体育協会所属の新宮イーグルスは予選を全勝してパート優勝を果たし、決勝トーナメントに進出。春の大会に続き、第3位の成績を収めました。

また、12月15日に名島運動公園で開催された第36回福岡東少年ソフトボール連盟駅伝・学年別マラソン大会では、学年別マラソンの部で優勝をはじめ多数の入賞を果たし、駅伝の部では準優勝を収め



▲好成績を残した新宮イーグルス

ました。令和元年を輝かしい成績で締めくくることができました。



▲準優勝した隅田さん(左)と樋口さん(右)



▲優勝した元梅さん(左)と山口さん(右)

バドミントンで好成績！

1月19日に篠栗町民体育館で、令和元年度冬季わかば杯中学生大会が開催され、総勢73人による熱戦が繰り広げられました。試合はシングルスとダブルスが行われ、町体育協会所属の新宮ジュニアバドミントンクラブと羽根くらぶが、次のとおりの優秀な成績を収めました。

○新宮ジュニアバドミントンクラブ

【男子ダブルスの部 準優勝】

隅田壮真(杜の宮)・樋口蒼唯(ファーンエスト新宮)

○羽根くらぶ

【女子ダブルスの部 優勝】

優勝 元梅聖(下府1)・山口璃子(緑ヶ浜)

※敬称略



立花小学校百人一首大会

1月18日に立花小学校体育館で、伝統の百人一首大会が開催されました。各学年1クラスの立花小学校では、低・中・高に分かれて異学年対戦を取り入れています。下の学年はお兄さんお姉さんに負けないように、そして、上の学年はプライドをかけて、

真剣勝負です。

子どもたちは「はいっ！」と大きな声を響かせながら、真剣に札を取り合っていました。百人一首初心者の1年生も2年生と堂々と対戦しており、はじめのうちは寒かった体育館も、熱気で包まれました。



▲対戦は真剣そのもの！



▲勢いよく札を取っていきます

待ちに待った交流学习！

立花小学校と相島小学校では、本年度1年生が学期に一度、交流学习を行っています。1月23日に相島小の2人が担任の先生とともに立花小学校にやってきて、一緒に算数、英語、音楽を勉強しました。英語では野菜の単語を学び、椅子取りゲーム(フルーツバスケット)を楽しみました。音楽では「な

べなべ」や「おちゃらか」などのわらべうたをとおして交流しました。この日は両校合わせて総勢28人となり、元気な歌声が廊下まで響き渡りました。

また、冬休みの思い出を発表したり、相島小の2人が相島の好きなところを紹介したりして、授業後には一緒に給食を食べて交流を楽しみました。



▲たくさんのお友だちの前で発表！



▲みんなでフルーツバスケット



暮らしと税について学ぶ

町では、子どもたちに税金の仕組みや役割を知ってもらうために、町立小学校で税務課職員による租税教室を行っています。もしも税金がなかったら、教科書や警察、消防などが利用できなくなったり、ごみが回収されなくなったりするなどの問題が生じます。身近な話題をとおして税金がどのように使われているのかを学習しました。

授業の最後には1億円のレプリカに触れました。子どもたちは約10キロにもなる重さと、札束にとっても驚いていました。



▲税金の種類や役割に関するクイズを出題！

◀1億円の札束に興味津々！

福岡県とびうめ教育表彰式

1月7日に県庁で行われた福岡県とびうめ教育表彰式で、新宮北小学校が公立学校優秀校として表彰されました。開校から4年間のこれまでの教育活動が評価されたものです。今後も学校と地域が連携しながら、子どもたちの健全な育成に向けた取り組みを続けていきます。

また、新宮東中学校栄養教諭の中西美里先生が、公立学校優秀教員表彰を受けました。



▲受賞した新宮北小学校の高口校長(左)と長崎町長、宮川教育長(右)

美術展で表彰されました

2019ふくおか県障がい児者美術展で、山本メイコさん(緑ヶ浜)が絵画で佳作を受賞しました。山本さんの作品は3月21日まで新宮町福祉センターに飾られています。ぜひ、ご覧ください。



▲受賞した山本さん(左)と山口健康福祉課長(右)

高校生が提案！ 新宮みらいスコープ

新宮高校では、1年生が54班に分かれて、防災や環境、観光などそれぞれが設定した課題に対し、新宮町の活性化の方策を考える「新宮みらいスコープ」という探究活動を行ってきました。

1月30日に代表の9班によるステージ発表と、45班によるポスター発表会が開催されました。インタビューや資料などで調べた結果をグラフやイラストなどで分かりやすくまとめ、現状と問題点、それに対する解決策の提案などを発表しました。

「災害時に新宮高校を避難場所とした場合にどう運用するか」「小さな子どもが安全に遊べる公園にするにはどうしたらよいか」など、さまざまな視点での意見が出されました。



▲発表の様子



▲協定書を締結しました

新宮高校キャラクター



新宮町と新宮高校は、12月10日に地域の課題解決や活性化に協力して取り組むことを目的として、連携協定を締結しました。調印式には、生徒会を代表して3人が校長とともに出席し、「ひとつでも多くの事業で頑張りたい」と決意を述べました。

新宮東中、ぼうさい甲子園で特別賞！

毎日新聞社が主催する「ぼうさい甲子園」で、新宮東中学校が特別賞の「だいじょうぶ賞」を受賞しました。日ごろからの防災に関する学習や取り組みが評価されての受賞です。受賞を受けて子どもたちは「中学生でも自他の命を守ることができる！」と自信を持ち、さらなる減災・縮災にむけた取り組みに意欲的になっています。

そして、1月21日に長崎町長に受賞を報告しました。子どもたちにとっては、多くのみなさんの協力を得ながらの学習をとおして、ふるさと「新宮町」の未来を考える良い機会となりました。



▲生徒代表で表彰式に出席した石原さん(左)、石田さん(中央)、松尾さん(右)

※新宮東中学校の取り組みの様子は、14ページをご覧ください。